

2026年度

事業計画書

公益財団法人都市活力研究所

はじめに

2025年度の日本経済は激動する世界情勢に振り回されながらも、新しいリーダーのもと戦略的な経済政策の実施に向けて大きく舵を切り始めた。

当法人においても、補助事業の縮小や新たなコンソーシアムの立ち上げをきっかけとして事業や組織の大幅な組み換えを行い、限られたリソースを重点施策に集中する体制を整えたところである。2026年度は新体制のもと、次の点に特に注力する。

- ライフサイエンス分野においては、ニューモダリティコンソーシアムを通じた創薬の加速と、バイオコミュニティ関西によるバイオものづくり等の社会実装促進。
- 産学連携分野においては、大学シーズの社会実装や大学発スタートアップの成長に必要な機能・知見を適材適所で供給できる仕組みづくりと、ディープテックに関わる企業ネットワークの強化。
- まちづくり分野においては、今後課題となる都心フリンジエリアの活性化についての調査研究と政策提言。

また、引き続き各方面の関連団体との連携を強化し、それぞれの事業がシナジー効果を発揮するよう推進していく。

【公益事業1】産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

ライフサイエンス分野において、大学等での有望な技術や研究テーマである創薬シーズの育成支援及び創薬分野へのコンピュータの利用促進を図るための情報共有機会の提供、並びに技術経営プログラムの提供を通じて、産業の振興を図る。

(1) 創薬シーズの育成

- **新モダリティコンソーシアム（相談、助言）**
大学やバイオベンチャーの創薬シーズとバイオベンチャー、IT企業などが保有する各種の創薬技術をマッチングする産官学のコンソーシアムを運営し、創薬を加速する。

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

- **インシリコ創薬支援事業（講座、セミナー、育成）**
（一社）ライフインテリジェンスコンソーシアムと協力し、創薬分野におけるスーパーコンピュータの利用（インシリコ創薬）を推進する。

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

- **バイオ講座（講座、セミナー、育成）**
ライフサイエンス分野の領域を対象に、起業を視野に入れた知識とスキルを学ぶ技術経営講座を、神戸大学と共同主催し、即戦力となる実務リーダーの育成を図る。今年度は8日間16講座を提供する。
- **バイオメディカル研究会（講座、セミナー、育成）**
健康・医療のデータサイエンスに関わる先端研究を紹介し、参加者が講師と討論するセミナーを開催している。主催は日本バイオインフォマティクス学会であり当法人は共催として事務局を務め年2回開催する。
- **バイオコミュニティ関西共催セミナー（講座、セミナー、育成）**
その他事業として実施するバイオコミュニティ関西（BiocK）との共催により、「バイオエコノミー戦略」を実現する人材育成のためのセミナーを実施する。
- **次世代モダリティ研究所との共催セミナー（講座、セミナー、育成）**
その他事業として事務局運営を支援する「モダリティ研究所」との共催により、次世代医薬品に関するセミナーを実施する。

2. 産学融合によるイノベーションエコシステムの形成

大学と産業界が一体となり大学発シーズ・スタートアップや人材の育成を図るための事業「関西イノベーションイニシアティブ」を推進し、産業の振興を図る。

(1) 大学と産業界をつなぐイノベーター人材育成プログラムの組成 (講座、セミナー、育成)

CXO人材と技術シーズのマッチング等について、関係機関や関連プログラムと連携する他、事業会社のオープンイノベーションマインドの醸成に向けた取組も進めていく。

(2) 大学発シーズ・スタートアップと産業界のマッチングによる産学共創の推進 (相談、助言)

産業界とアカデミアとのギャップを解消するため、大学の産連本部やベンチャー支援部門、KSAC（関西スタートアップアカデミア・コアリション）と共働し、シーズとニーズのマッチング機会を創出する。具体的には、技術シーズや大学発スタートアップを紹介するマッチングイベントなどを実施する。

(3) 大学発シーズ・スタートアップの表彰 (表彰・コンクール)

KSII事業では社会課題解決と持続的成長を両立する大学発スタートアップの連続的創出を目指している。表彰事業を通じた有望スタートアップ候補の抽出、大学発スタートアップの活性化および裾野拡大等のため、大阪商工会議所等と連携して「U-START UP KANSAI」を実施する。

(4) 産学融合拠点のあり方の研究 (調査、資料収集)

関西エリアの大学どうしの連携を促進するための交流機会の創出や、大学発の技術シーズを容易に閲覧できるサイトの運用、「関西エリア大学発スタートアップ集」の制作・更新等による情報の集約と発信を行う。

【公益事業2】まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業

1. 新しいまちづくり等のあり方に関する調査研究

新しいまちづくりのあり方について産学官で議論する場をつくり、今後の新しい方向性の提言等により、都市の活性化を図る。

(1) UIIまちづくり研究会 (調査、資料収集)

大阪都市部の活性化に向けて、これからのまちづくりのあり方を研究する研究会を設置し調査研究を行う。テーマは次の通りである。

● 「都心フリンジのエリア価値創造」検討会

京阪神都市圏の都市構造において経済合理性と画一的かつ高度に集積した都市機能を軸とする従来の都心のあり方を課題と捉え、地域固有の文化が息づく「都心フリンジ」エリアに着目し、その課題と価値創造をテーマに検討会を25年度に設立した。本検討会は、まちづくりやエリアマネジメント等の実務経験や課題意識をもつ学識経験者、有識者、鉄道会社等が一堂に会し、都心中心部と郊外の中間的エリアである「都心フリンジのエリア価値創造」の諸課題について専門的な見地から議論を深め、課題解決を目指す場として推進している。

(2) まちづくりに関するセミナーの開催 (講座、セミナー、育成)

● UIIまちづくりフォーラム

まちづくり分野の新たな施策・制度や動向を紹介するセミナー等を、都心フリンジのエリア価値創造検討会等の検討内容等を勘案して開催予定。

2. 鉄道沿線まちづくりに関する調査研究

大都市近郊部の高齢化や人口減少等の課題に対応するため、鉄道の駅を中心としたコンパクトなまちづくりを目指して、鉄道沿線価値の維持・向上に向けた調査研究を行い、提言につなげる。

(1) 都心近接エリアにおける鉄道沿線まちづくりに関する研究 (講座、セミナー、育成)

● 「十三×JUSO CROSS」

2026年度竣工予定の「ジオタワー十三」竣工など十三地区のまちづくりが動き出す中で、今後の地域コミュニティ形成や地域文化、歴史等の発掘、発信等に向けた情報発信イベント「十三× JUSO CROSS」を昨年引き続き株式会社ウェルビーイング阪急阪神(WBHH)と連携して推進する。

● 「地域の未来を考える公共交通セミナー」の実施

24年度下期から阪急電鉄と共催している「地域の未来を考える公共交通セミナー」を今年度も継続実施予定。

【その他事業】産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための補助的事業

1. 創薬関連プロジェクトの推進支援

創薬の非競争領域における基盤技術の普及や促進のための活動を支援する。

(1) バイオコミュニティ関西 (BiocK) の運営支援

バイオエコノミー社会の実現のために内閣府認定のグローバルバイオコミュニティとして全国の認定バイオコミュニティと連携し、バイオ技術の社会実装を目的として活動している。スタートアップ支援や環境・食・エネルギーなどの分科会活動を通して社会課題の解決をめざす。

昨年度に引き続き、内閣府予算を活用した分科会の支援や、スタートアップの活動支援に取り組んでいく。

(2) 次世代モダリティ研究所の運営支援

抗体、核酸、細胞など次世代モダリティを用いた革新的医薬品の研究と開発促進を目的としてCBI学会のCBI研究機構の元に設立された同研究所の事務局として運営を支援する。

2. エリアマネジメント活動の支援

公益事業2において調査・研究したまちづくりのあり方を実践に移すため、主に都心部におけるエリアマネジメント団体等の諸活動を支援する。

● エリアマネジメント活性化会議の事務局支援

大阪市内におけるエリアマネジメント活動の活性化のために、大阪市と市内のエリアマネジメント11団体により構成する会議の共同事務局を運営する。

今年度は屋外広告や公開空地利用に関する規制緩和の方向性を議論する。

3. 大学技術シーズを活用した有望スタートアップの個別支援

社会課題解決と持続的成長を両立し一定のスケールアップを果たした大学発スタートアップを大阪・関西から連続的に輩出することを目指し、有望な大学発スタートアップを集中的・総合的に支援する取り組みを行う。

4. 産学連携による実証実験プロジェクトの支援

一般社団法人関西イノベーションセンター (MUIC) と連携し、技術を活用した社会課題解決および社会実装を推進するため、大学発シーズ・スタートアップと大企業等の実証実験プロジェクトの組成および実行を支援する。

5. 関連団体へのデスク賃貸

当法人の公益事業から派生し、別法人としてスピナウトした団体が事業を円滑に継続できるよう、デスク貸しを行う。

以 上